

2013年度

株 主 通 信

2013年1月1日～2013年12月31日

BUSINESS REPORT 2013

中外製薬株式会社



左：永山 治会長 右：小坂 達朗社長

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2013年度(2013年1月1日から2013年12月31日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2014年3月

代表取締役会長
最高経営責任者

永山 治

代表取締役社長
最高執行責任者

小坂 達朗

目 次

ごあいさつ.....	1	くずりのはなし.....	8
マネジメントメッセージ.....	2	株主インフォメーション.....	9
特集「株主様工場見学会初開催レポート」.....	5	会社の概況／株式の概況.....	裏表紙
Topics	7		

トップ製薬企業を目指し、 変革を遂行

代表取締役会長 最高経営責任者

永 山 治



■ 販売の伸びとロイヤルティの拡大で増収増益、 円安による利益への影響をカバー

当期の営業状況は、製商品売上高の伸びとロイヤルティ及びその他の営業収益の拡大により、順調に推移しました。連結業績(Core実績^{※1}、以下同)は、売上収益4,237億円(前期比9.6%増)、営業利益799億円(同5.7%増)、当期利益526億円(同11.0%増)と、計画を上回る増収増

益となりました。円安の影響を受け、原価率の上昇や海外販社の経費増等が生じましたが、売上収益の力強い伸びによりこれを補い増益を果たしています。

✓ 用語解説

※1 Core実績
IFRS(国際会計基準)実績から、当社が非経常的と捉える事象に係る損益等を除いたもの。

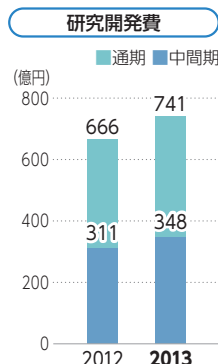
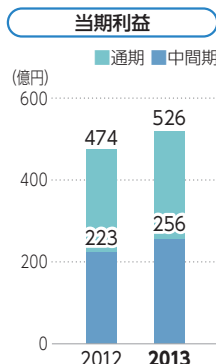
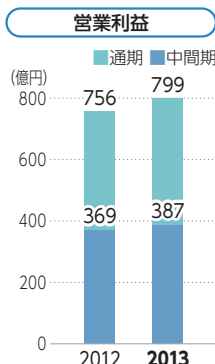
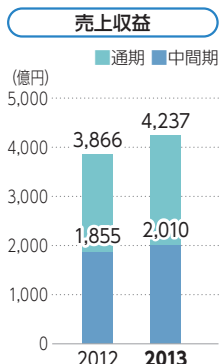
Core実績連結財務ハイライト (2013年1月1日～2013年12月31日)

売上収益 4,237億円
(前期比 9.6%増) ▲

営業利益 799億円
(前期比 5.7%増) ▲

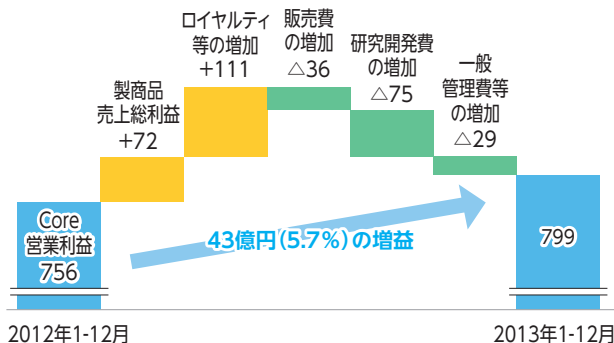
当期利益 526億円
(前期比 11.0%増) ▲

研究開発費 741億円
(前期比 11.3%増) ▲



◆ マネジメントメッセージ

● Core営業利益の増減内訳



「タミフル」を除く国内製商品の売上高は、3,292億円(同2.6%増)となりました。特にながん領域は、主力製品「アバスタチン」「タルセバ」の好調に加え、新発売の「パーゼタ」も寄与したことで、1,724億円(同10.4%増)と大きく増収し、全体の増収を牽引しました。一方、骨・関節領域の売上高は、「エビスタ」の販売提携終了による減収要因があり、606億円(同8.6%減)にとどまりました。しかし「エディロール」の好調や、新剤形^{※2}(皮下注製剤)を発売した「アクテムラ」、新発売の「ボンビバ」が補い、減収幅を抑えています。

海外製商品の売上高は、円安効果とともに「アクテムラ」のロシヤ向け輸出が伸長し、611億円(同44.4%増)と大幅増収を遂げました。「アクテムラ」は全世界売上高が10億スイスフラン(約1,000億円)を超え、ブロックバスター^{※3}

入りを果たしました。

ロイヤルティ及びその他の営業収入は、新薬開発によるマイルストーン収入^{※4}に加え、ロシヤによる「アクテムラ」の海外売上増加により受取ロイヤルティとプロフィットシェア^{※5}が拡大し、224億円(同98.2%)と倍増しました。

■ 中期経営計画に掲げる変革を着実に遂行、2014年12月期は引き続き売上成長

当期は3カ年中期経営計画「ACCEL 15」の初年度でした。「ACCEL 15」は、「営業生産性の向上」、「グローバル開発の加速」、「革新的プロジェクトの連続創出」、「経営基盤の更なる強化」、の4つを重要変革テーマに掲げ、トップ製薬企業の実現を目指すものです。

初年度の進捗状況を振り返ると、各変革テーマとも順調な成果を上げています。「営業生産性の向上」では、顧客政策部の設置によるコンサルティングプロモーション等の強化や、学術本部によるエビデンス^{※6}の創出機能の向上を図りました。「グローバル開発の加速」では、複数の自社創製抗体プロジェクトでグローバル試験が進んでいます。「革新的プロジェクトの連続創出」では、シンガポールの研究子会社が本格稼働し、次世代抗体技術の進化に向けた動きを加速させました。「経営基盤の更なる強化」では、バイオ事業拡大への設備投資や中国版社の設立準備、イノベーション創出のための人材の多様性(ダイバーシティ^{※7})

☑ 用語解説

※2 剤形

剤形とは、医薬品を目的・用途に応じた適切な形にしたものの、錠剤、丸剤、軟膏剤、注射剤など。

※3 ブロックバスター

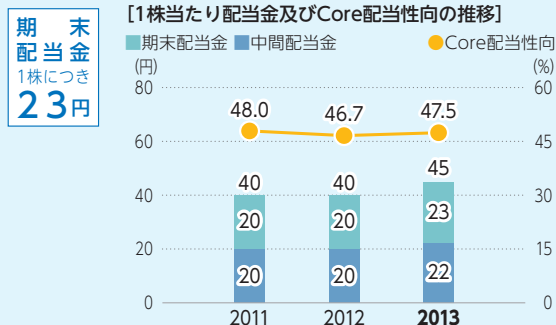
突出した売上を誇る画期的新薬。年商10億ドル(約1,000億円)を超える新薬を指すことが多い。

※4 マイルストーン収入

知的財産ライセンス先企業等から支払われ、契約内容に応じて生じる一時的な収入。

■2013年12月期期末配当について

戦略的な投資資金需要や業績見通しを勘案したうえで、Core EPS対比平均して50%の配当性向を目処に、株主の皆様へ安定的な配当を行うことを目標といたします。2014年3月27日開催の株主総会において、期末配当の実施につき、次のとおり決議いたしました。



促進に取り組んでいます。

2014年度は、新製品「パージェタ」「ボンビバ」を成長軌道に乗せ、「アクテムラ」「アバスチン」「ミルセラ」など成長を支える主力製品を市場に一層浸透させていきます。また、国内申請を果たした「AF802(一般名：アレクチニブ)」の早期承認を目指すとともに、自社創製抗体の臨床開発を加速します。

2014年度の連結業績については、引き続き増収を計画していますが、円安の影響による原価率の上昇と経費

2014年12月期の予想 (Core ベース)

科 目	2014年1-12月 (億円)
売上収益	4,510
製商品売上高	4,270
ロイヤリティ及びその他の営業収入	240
売上原価	△2,130
売上総利益	2,380
経費計	△1,670
営業利益	710
EPS(=1株当たり当期利益) (円)	82.62
配当予想	中 間
	22円
配当予想	期 末
	23円

の増加を受け、減益となる見込みです。なお、配当予想につきましては、2013年度と同額の1株当たり年間45円、うち中間配当金22円といたします。

「すべての革新は患者さんのために」という事業哲学のもと、当社は医療への更なる貢献を果たし、事業を持続的に発展させていくことで、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当事業へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※5 プロフィットシェア

ロシュとの共同販促で得られた利益のうち、当社の取り分。

※6 エビデンス

医薬品や治療法が疾患に対して効果があることを示す証拠や検証・臨床結果を指す。

※7 ダイバーシティ

組織の人財構成における性別や年齢、経歴、障害、人種、国籍などの多様化。



国内最大規模の バイオ医薬品生産設備を有する

スケジュール



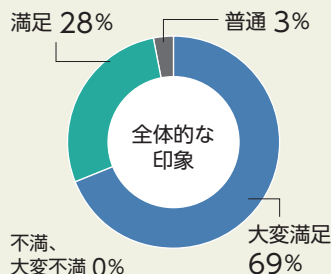
昼食

中外製薬工業(株)社長 高畠より
「中外製薬工業(株)及び
宇都宮工場紹介」

参加された皆様の声(アンケートより抜粋)

- 社員の方々が至る所でとても親切丁寧に対応して下さい、質問にもきちんと答えて下さって勉強になりました。ありがとうございました。
- 難しいことをやさしく説明しようと努力するスタッフの熱意がすばらしいと思った。
- 巨大密封設備が社業を支えていることを体感しました。また、社員の礼儀正しさにも感心しました。

皆様からのご意見・ご感想を、次回の見学会運営の参考とさせていただきたいと存じます。



2013年10月10日(木)「中外製薬工業株式会社 宇都宮工場」にてはじめての「株主様工場見学会」を開催いたしました。多数のご応募をいただいたため、厳正な抽選を行い、当選された合計36名の株主様及び同伴者様にバイオ医薬品の生産現場を見学していただきました。

宇都宮工場を見学

中外製薬工業(株)宇都宮工場 概要

敷地面積 122,359m²

製品の種類 バイオ原薬 注射剤 包装

製品目録

- アクテムラ[®]点滴静注用 (ヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体)
- エポジン[®]注シリンジ (腎性貧血治療剤)
- ノイトロジン[®]注 (好中球減少症治療剤)
- アバスチン[®]点滴静注用 (抗悪性腫瘍剤)
- ハーセプチン[®]注射用 (抗悪性腫瘍剤)
- ペガシス[®]注 (C型慢性肝炎治療剤)

工場見学 3班に分かれて見学



● 1万ℓ×6基のタンク見学
(バイオ原体製造棟)

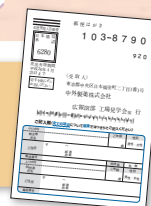


● 免震構造の仕組み(免震ピット)




- エポジンの包装工程
(第2注射剤棟)
- アクテムラの充填
(第3注射剤棟)

→ 中外製薬工業(株)宇都宮工場長
金沢より閉会の挨拶



今後も株主の皆様とのコミュニケーションを深める貴重な機会として継続していきますので、ふるってご応募ください。なお、次回は2014年5月27日(火)に開催予定です。詳しくは、同封の案内状をご覧ください。

バス移動 

→ 16:00頃
宇都宮駅にて解散

Topics トピックス

2013.JUL >>>>>> 2013.DEC

下半期の主な事業活動をご紹介します。

Sep
9月

公益財団法人日本障害者スポーツ協会
日本パラリンピック委員会(Japan
Paralympic Committee: JPC)へ、オフィシャル
パートナーとして協賛することといたしました。



Sep
9月

ご高齢の方や障がいをお持ちの方の福祉に取り組ん
でいる5団体に「在宅福祉移送サービスカー」(移送サー
ビス用福祉車両)を寄贈いたしました。(今回5台、累計198台)

Oct
10月

中外製薬ウェブサイト内に、特設コンテンツ「個別化
医療が可能にする未来」を新たに公開いたしました。

ある病気に対して同じ薬で治療を行っても、その効果や副作用
は患者さんによって差が生じることがあります。これは、それぞ
れの患者さんで病気に関係する異なった分子・遺伝子情報を持
つことが原因となっています。個別化医療は、この分子・遺伝
子情報の違いに着目し、患者さんの病気の特性に合わせて治
療を行うものです。

新コンテンツ『個別化医療が可能にする未来』では、「個別化医療
とは」「個別化医療のあゆみ」「もたらすメリット」「活用されている

病気」「中外製薬の
取り組み」等につ
いてアニメーションや
イラストを交えてわ
かりやすく解説し
ています。



『個別化医療が可能にする未来』 <http://chugai-pharm.info/phc/>

Aug
8月

科学技術館で行った生物実験教室「“このお肉は何の
肉?” 〜リアルタイムPCR法を用いた食品中の牛・豚・

鶏肉の検証〜」では、高校生など19
名の皆さんが、最先端のDNA増幅
装置を実際に使用した遺伝子解析の
実験に取り組み、食品の遺伝子を解
析することで、「遺伝子」や「遺伝子検
査」などをより身近に感じた様子がう
かがえました。

今後も社会貢献活動の一環として、
次世代の教育に積極的に取り組んで
いきます。



Oct
10月

中外製薬ウェブ
サイトの一般向
け情報提供サイト「病気と
くすり」内のコンテンツ『バ
イオのはなし』をリニューアル
いたしました。

『バイオのはなし』は、「よく
わかるバイオ・ゲノム」と



(新) バイオのはなし
[http://chugai-pharm.info/hc/ss/bio/
index.html](http://chugai-pharm.info/hc/ss/bio/index.html)

「よくわかる抗体医薬品」の二つのトピックスによって構成し、生
物の持っている働きを人々の暮らしに役立てるバイオ技術など
を子どもから大人まで幅広い年齢層の方々に理解を深めていた
だけできるよう、アクセシビリティとユーザビリティの向上とともに、
以下の点がリニューアルされています。

- ① 目的の情報をより早く、より簡単に見つけられるように目次(メ
ニュー)の改善
- ② スマートフォンやタブレット端末などのマルチデバイスにおける動
画再生の実現
- ③ iPS細胞を活用した医療の紹介
- ④ 当社の革新的な次世代抗体技術の紹介

※コンテンツについては東北大学大学院工学研究科バイオ工学専攻 名誉教授・
客員教授熊谷 泉先生に監修いただいております。



くすりのはなし 6

日常生活の中で役に立つ“くすりのはなし”。今回は、インフォームド・コンセントについてのおはなしです。

詳しくはホームページをご覧ください

中外製薬 くすりのはなし

検索

インフォームド・コンセント

インフォームド・コンセントとは

インフォームド・コンセント (informed consent) とは、「説明を受け納得したうえで同意」という意味です。医師が病気や容態、つまり患者さんの体の中でどのようなことが起こっているかということや、検査、治療の内容、処方される薬について十分な説明をし、患者さんは内容をよく理解し、納得した上で同意して治療を受けるということです。薬剤師から薬を受け取る時も同様のことがいえます。



インフォームド・コンセントの効果

検査や治療、薬の必要性や効果がわからないと、自分で判断して治療や薬の服用を途中でやめてしまうなど、効果が出にくくなっていくケースがあります。

インフォームド・コンセントを受けることで医師、薬剤師とのコミュニケーションがよくなり、信頼関係が高まるほか、治療や薬の必要性が理解できるので、患者さんがより積極的に治療に参加できるようになる効果もあります。医師の考えがわかれば患者さんも意見をいうことができ、不安感をなくすことにもつながります。結果として治療効果を高めることも期待できるのです。

インフォームド・コンセントが困難なケース

- 未成年の場合
- 意思の疎通ができない場合
- 精神科の病気の場合
- 救急の場合
- がんの場合

インフォームド・チョイスとインフォームド・ディシジョン

インフォームド・チョイス (informed choice) は、「説明を受けたうえでの選択」という意味です。

例えば、手術と化学療法の予後に大差がないと考えられる場合のように、選択可能な治療方針が複数ある場合は、医師から十分な説明を受けたり、情報を集めたりしたうえで治療方法を選択するということです。

さらに、その選択した方法で実際に医療を受けるか否かを自己決定することを、インフォームド・ディシジョン (informed decision) といいます。患者さん主体の医療が求められる中、インフォームド・チョイス、インフォームド・ディシジョンの重要性が増しているといわれています。



患者さんが注意すること

医師、薬剤師にまかせっきりにしない

医療の主人公は患者さん自身です。治療に積極的に参加しましょう。

病状やくすりに積極的に関心をもつ

医師・薬剤師から説明を受けて、それを理解するには、情報収集などの努力も必要です。まず、病状や薬に関心を持ちましょう。

理解できるまで説明を求める

医療従事者はつい専門用語を口にしてしまいがちです。分かるまで説明を求めることが必要です。メモをとるのもお勧めです。

株主インフォメーション

ホームページのご案内 ▶▶▶ <http://www.chugai-pharm.co.jp/>

中外製薬

検索

中外製薬の
CSR活動はこちらから



最新のIR情報は
こちらから



- 病気とくすりに関する情報や
中外製薬が取り組む活動をご
紹介しています。

NEW

『個別化医療が可能にする未来』

RENEWAL

「病気とくすり」内『バイオのはなし』

> P7のトピックスで詳しくご紹介しています。



▶ 新製品開発状況

最新の
開発パイプラインは
こちらでご確認
いただけます。

単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

単元未満株式を
処分したいのですが…

右記、単元未満株式の
買取・買増請求制度を
ご利用ください

買取請求制度について

100株(単元株)未満の株式を、当社
に対して市場価格で売却することが
できる制度です。

株主様の
100株未満株式

当社に対し市場価格で
売却

現金化

(例) 50株を保有の場合、市場では売却できませんが、
市場価格で当社が買い取りいたします。



買増請求制度について

100株(単元株)に不足する数の株式
を、当社から市場価格で買い増し、
単元株にすることができる制度です。

株主様の
100株未満株式

当社から市場価格で
購入

100株

(例) 60株を保有の場合、40株を買い増して、
100株とすることができます。

II
単元株式



● 今後のIRスケジュール

- | | | |
|-------|------|-------------|
| 2014年 | 4月下旬 | ● 第1四半期決算発表 |
| | 7月下旬 | ● 第2四半期決算発表 |

各種お手続きのお申し出先

- ① 証券会社の口座にある株式
 - ▶ お取引先の証券会社
 - ② 特別口座にある株式
 - ▶ 三菱UFJ信託銀行(下記までお問い合わせ下さい。)
- 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 TEL. 0120-232-711
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株主メモ

● 事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

● 定時株主総会

毎年3月

● 配当金

期末配当金受領株主確定日 毎年12月31日

中間配当金受領株主確定日 毎年 6月30日

● 公告

電子公告により行います。

ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

● 1単元の株式数

100 株

● 株主名簿管理人特別口座の口座管理機関

三菱 UFJ 信託銀行株式会社

(同連絡先)

〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

● 上場証券取引所

東京

会社の概況／株式の概況 (2013年12月31日現在)

会社概要

会社設立 1943年(昭和18年)3月8日
創業 1925年(大正14年)3月10日
資本金 72,966,825,723円
従業員数 6,872名(連結)
本店 東京都北区浮間五丁目5番1号
本社事務所 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号

役員 (2014年3月27日現在)

取締役

代表取締役会長 永山 治
代表取締役副会長 上野 幹夫
代表取締役社長 小坂 達朗
取締役専務執行役員 板谷 嘉夫
取締役専務執行役員 田中 裕
社外取締役 大橋 光夫
社外取締役 池田 康夫
社外取締役 フランツ・ベルンハント・フーマー
社外取締役 ダニエル・オデイ
社外取締役 ソフィー・コロノウスキー・ボネ

監査役

常勤監査役 三輪 光太郎
常勤監査役 渡辺 邦敏
社外監査役 原 壽
社外監査役 石塚 達郎

株式状況

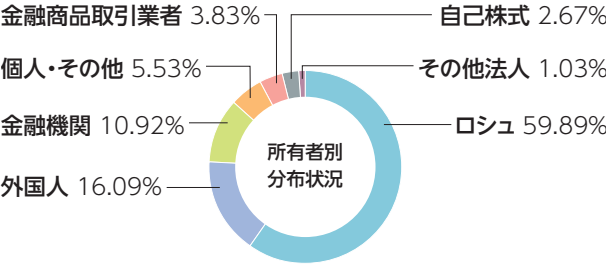
発行可能株式総数 799,805,050株
発行済株式の総数 559,685,889株
株主数 34,241名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ROCHE HOLDING LTD	335,223	61.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	16,095	2.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,499	2.29
野村證券株式会社	4,422	0.81
東京海上日動火災保険株式会社	3,787	0.69
中外製薬社員持株会	3,594	0.65
BNPパリバ証券株式会社	3,516	0.64
ドイツ証券株式会社	3,367	0.61
住友生命保険相互会社	3,000	0.55
ビーエヌピー パリバ セック サービス ルクセンブルグ ジャスデック アバディーン グローバル クライアント アセッツ	2,991	0.54

※当社は自己株式14,944,320株を所有しておりますが、上記の大株主(上位10名)の中には含めておりません。
※持株比率は、発行済株式の総数から自己株式の数を控除して計算しております。

株式分布状況



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



用紙は、FSC®森林認証紙を使用しています。インキはVOC(揮発性有機化合物)が1%未満のノンVOCインキを使用しています。印刷は有害物質を含む湿し水を使用しない、水なし印刷を採用しています。



中外製薬株式会社

ロシュグループ

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町 2-1-1
TEL.03(3281)6611 (代表)